

# 農業支援サービス事業について

令和8年1月

農産局 技術普及課

農林水産省

## 食料・農業・農村基本法等における位置づけ

### ●食料・農業・農村基本法(令和6年6月施行)

#### 【基本理念】

#### 第5条(抜粋)

農業については、その有する食料その他 の農産物の供給機能等の重要性に鑑み、人口の減少に伴う農業者の減少等農業をめぐる情勢の変化が生ずる状況 においても、これらの機能が発揮されるよう、農業の生産性の向上等が 図られることにより、持続的な発展が図られなければならない。

#### 【基本的施策】

#### 第37条

国は、農業者の経営の発展及び農業の生産性の向上に資するため、農作業の受託、農業機械の貸渡し、農作業 を行う人材の派遣、農業経営に係る情報の分析及び助言その他の農業経営の支援を行う事業者の事業活動の促進に必要な施策を講ずるものとする。

### ●食料・農業・農村基本計画(令和7年4月閣議決定)

#### 第4 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

##### 1 我が国の食料供給

##### 2 食料自給力の確保

##### (4) 生産性向上に向けた取組

##### ② スマート農業技術等の開発・普及促進

##### ウ 農業支援サービス事業者の育成を通じたスマート農業技術の導入

中山間地域をはじめ、労働力不足の課題を抱える生産現場においては、スマート農業技術の導入が有効であるが、スマート農業技術の導入コストや当該技術を農業経営に有効に活用するための専門知識の習得の必要性等を踏まえると、専門作業の受注等を行う農業支援サービスの活用が有効である。一方で、農業支援サービス事業は、立ち上げ時に事業者の負担が大きいことに加え、年間の作業期間に限られる農作業において、単一品目や単一作業を受託するだけでは収益性が低いこと等から、持続性の高い事業モデルが十分に成熟していない。また、「農業競争力強化支援法」(平成29年法律第35号)の下、農業者のニーズを踏まえて機能を絞った農業機械の大量発注・共同購入等、良質かつ低廉な農業機械の供給に向けた取組が進められてきたが、物価上昇基調の中、こうした取組には限界も存在している。このため、中山間地域を含め、生産現場におけるスマート農業技術の活用については、多様な地域課題に対応したスマート農業技術の開発・供給を推進するとともに、立ち上げの促進や収益性を確保し得る事業モデルの創出等を通じて農業支援サービス事業者の育成・確保を推進する。くわえて、共同購入等を通じた良質かつ低廉な農業機械の供給を引き続き推進しつつ、農業機械の利用面では、農業支援サービス事業の活用を通じて農業機械の所有からの利用への転換を進めることにより、農業機械コストの低減を推進する。

# 農業支援サービス事業の分類

○農業支援サービスは、提供するサービス内容に応じて4類型に、事業主体(母体)に応じて3系統に分類することができる。

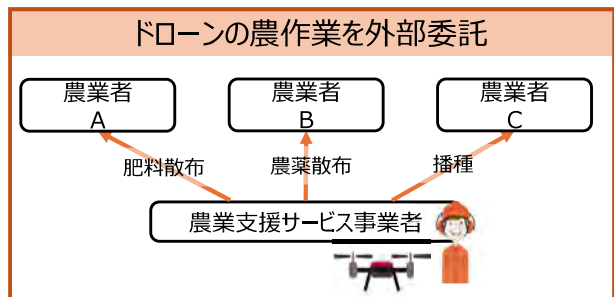
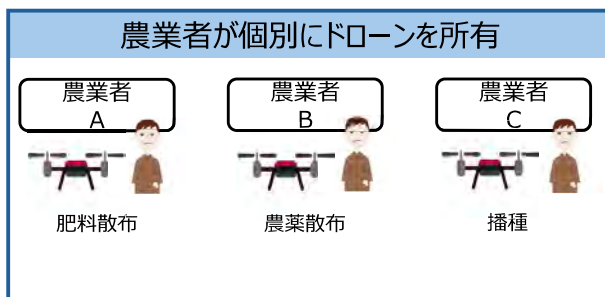
		複合サポート型（下記4類型の複合型）			
		作業サポート型			判断サポート型
サービス類型	事業主体（母体）	専門作業受注型	機械設備供給型	人材供給型	データ分析型
		<b>播種や防除、収穫などの農作業を受託し、農業者の作業の負担を軽減するサービス</b>	<b>機械・機具のリース・レンタル、シェアリングにより、農業者の導入コスト低減を図るサービス</b>	<b>作業者を必要とする農業現場のために、人材派遣等を行うサービス</b>	<b>農業関連データを分析して、解決策を提案するサービス</b>
農業系		JA新すながわ (ドローン防除・追肥・直播)	JAIはくい (アイガモロボット)	(株)アグリプラン(JAからの) (農業機械オペレータ派遣)	JA鹿児島県経済連 (ドローン生育・病虫害診断)
食料システム系		【精米事業者】 (株)オヤマ・アグリサービス (耕起、田植、収穫)	【食品加工メーカー】 カゴメ(株) (加工用トマト収穫機)	【外食事業者】 (株)ワタミ (外国人人材派遣)	【農業機械メーカー】 (株)クボタ (KSASによる営農管理)
異業種参入・スタートアップ系		九州電力(株) (ドローン防除)	(有)名張自動車学校 (ドローンレンタル)	(株)タイミー (アルバイト派遣)	テラスマイル(株) (経営診断、コンサルタント)

2

## 農業支援サービスの活用効果（農作業委託の場合）

農業者が農作業を外部委託（農業支援サービスを活用）することにより、農業者が簡単にスマート技術を導入することが可能。

【例：農業者がドローンを農作業に活用】



### メリット

- 農業者の都合の良いタイミングで利用できる

### デメリット

- 購入費、維持費が必要
- 操作方法の習得が必要
- 稼働面積・時間が限定的となり、費用対効果が低くなる

### メリット

- 委託料の支払いのみで、購入費や維持費は不要
- 操作方法の習得が不要

### デメリット

- 他の農業者と希望する作業日時が重なった場合、作業日時を調整する必要

3

# 農業支援サービス事業者の実態

農業者数が減少傾向にあり、「専門作業受注型」サービスへの期待は特に大きい中で、当該サービスを提供する事業者数も最も多く存在するが、**現状では農業者が副業的かつ小規模に行うものが多数を占めており**、本格的な事業展開を促す必要がある。

		令和2年
農作業を受託する経営体数（※）		90,686
農作業受託料金収入 50万円未満		55,403
農作業受託料金収入 50万円以上		35,283
農作業受託料金収入 500万円以上		5,701
農作業受託料金収入 1,000万円以上		3,114

※農作業を受託する経営体数は、受託料金収入なしの経営体数を除いている。  
出典：農林業センサス

農業センサス2020を通じて把握できた「農作業受託を行う農業経営体」数 **90,686**事業者

- ・ **水稲作の受託者が約9割**
- ・ **法人経営が約1割**
- ・ **副業的に作業受託を行う者が約9割**（農産物販売金額＞農作業受託料金収入の者）
- ・ **農作業受託の売上が少ないもの（50万円未満）が6割**

4

# 農業支援サービスの利用状況

農業支援サービスの利用を希望している農業者、実際に利用できている農業者ともに増加しているものの、更なる拡大の余地がある



資料：農林水産省「農業支援サービスに関する意識・意向調査結果」を基に作成

注：1) 各年度の数値は、「2020年農林業センサス」の結果を基に、令和4(2022)年8～9月、令和5(2023)年8～9月、令和6(2024)年10～11月に実施した調査で、有効回答数はそれぞれ1万793人、1万351人、1万383人

2) 農業支援サービスの利用を希望している農業の担い手は、農業支援サービスを利用している農業の担い手と調査時点では農業支援サービスを利用していないものの、今後利用する意向がある農業の担い手の合計

5

# 農業支援サービス事業の広がり

専門作業受注型

人材供給型

機械設備供給型

## (株) アグリプラン

### 【概要】

平成6年にJAふらの100%出資法人として誕生。農作業受託、農業機械リースなどの複数のサービスを展開。地域の農業者の減少と規模拡大に伴い、作業受託を徐々に拡大。



### 【サービス内容】

- 自動操舵トラクター等を用いた耕起や収穫等の代行、農業用機械リース、農作業機械オペレータの派遣、農作業ヘルパーの農作業請負事業を展開。農業者が自ら大型機械導入を行う必要がなくなることから、小規模農家の負担軽減に繋がる事が期待。

現在、正社員31名、臨時職員24名が在籍し、ニンジン、豆類、加工馬鈴薯等の播種・収穫等の機械作業を幅広く展開。

- 作業受託料金は

- ・耕起作業等トラクター作業：10,000～13,000円/ha
- ・ニンジン播種作業：2,000円/10a
- ・たまねぎ移植作業：10,000/10a
- ・加工馬鈴薯収穫作業：26,000円/10a 等



たまねぎ移植作業の様子

- 農業機械リース可能機械

- ・ビート移植機：3,000円/10a
- ・スイートコーン収穫機：15,000円/10a 等



加工馬鈴薯収穫作業の様子

- 農作業ヘルパー事業

- ・地域の農業労働力不足を解消するため、園芸品目を中心とした農作業請負事業を展開。
- ・JAふらの、JAにしよう、JAおきなわの3JA連携の下、通年雇用による持続的な人材供給サービスを実現。
- ・令和6年は126名を採用。

機械設備供給型

## (株) クボタ

### 【概要】

主に新規就農者を対象に、利用登録をした農業者が1時間単位で農業機械をレンタルして使用できるサービス。令和3年4月から開始。

### 【サービス内容】

- 貸出機械は、小型トラクター（21馬力）、中型トラクター（45馬力）、リモコン草刈機、ロータリー、小畝用マルチロータリー等
- 茨城県つくばみらい市、下妻市、京都府亀岡市、滋賀県甲賀市、兵庫県神戸市、大分県竹田市等、全国17拠点でサービスを展開。
- 機械のメンテナンスはクボタが実施。利用者はトラクター等の保管場所から自走、あるいはトラックなどで運搬。
- サービスの利用料金は、
  - ・小型トラクター：2,000円～4,000円程度／1時間
  - ・中型トラクター：5,000円～8,000円程度／1時間
  - ・リモコン草刈機：990円～2,000円程度／1時間
- 利用登録者数は330名



6

# 農業支援サービス事業の広がり

人材供給型

## YUIME (株)

### 【概要】

沖縄でのサトウキビ短期派遣を契機に、産地間連携により全国的に農業人材を確保するサービスを展開。OJTによるスタッフ育成も組み込んだチーム編成により、質の高い人材派遣サービスを展開。



収穫や選果などの作業を受託

### 【サービス内容】

- 産地の繁忙期を中心に労働力人材を派遣するサービスを提供。外国人材も活用しながら全国の産地に人材を派遣。稲作から他の作物へ転換をはじめ、幅広い農業技術を蓄積しており、多種多様な作物の播種～収穫～選果まで一気通貫した人材派遣・請負を実施可能。
- 令和4年5月に富山県における農業支援サービスの利用拡大と県内サービス事業体の育成を目的に、県内15JA、県JA中央会、全農県本部、農林中央金庫、サービス事業体（YUIME(株)）を構成員として「富山県農業支援サービス活用協議会」を設立し、タマネギ、キャベツ、トマトなどの生産について、県内での利活用の拡大に向けた実証を開始。R5年には富山モデルを基にした佐賀、宮崎等の自治体との取組も開始。
- R5年から千葉県内の自社圃場にてドローン等のスマート農業機械を扱える人材育成を目的とした研修を開始。
- R6年7月現在、特定技能1号の在留資格を持つ外国人材が600人強在籍。



たまねぎやキャベツの収穫作業の様子

データ分析型

## テラスマイル (株)

### 【概要】

デジタルマーケティングを農業経営に応用し、データのスムーズな可視化・予測・試算が可能な経営分析サービスを提供。九州地域から全国に活動の幅を拡大中。



自治体、JAと連携して、産地内の営農データの比較分析等を実施

### 【サービス内容】

- 農業者の蓄積したデータを可視化するだけでなく、単収・所得目標に応じた経営指針との比較分析が可能なサービス「RightARM」を提供。新たに、令和4年2月から、農業者のデータを自治体、JAと共有しながら、地域単位で幅広い比較分析を行うことにより、高収益産地形成への貢献が期待できる「RightARM for EX」によるサービスを開始。
- 利用料金は、
  - ・農業法人・生産者グループ向け：36万円～/年
  - ・自治体・JA向け：110万円～/年 (RightARM for EX)
- スマート農業プロジェクト6件、スマート農業技術活用産地支援プロジェクト6件、農業支援サービス育成対策2件等、スマ農技術の普及を数多くの実証事業を通じて実施。延べ23県32箇所にサービスを提供。



農業者が蓄積する様々な形式の経営データ



ICTデータの自動整形と多面的な経営分析・予測



分析レポートや成績表を活用した新たな営農支援

7

# 農業支援サービス事業への支援

スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業のうち

## サービス加速化事業

(スマート農業・農業支援サービス事業加速化総合対策事業)

令和8年度予算概算決定額2,530百万円の内数(前年度 30百万円)

〔令和7年度補正予算額 15,658百万円の内数〕

### <対策のポイント>

農業者の高齢化・減少が進む中において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入と、これを支える農業支援サービス事業者の育成や活動の促進等の取組を総合的に支援します。

### <事業目標>

スマート農業技術の活用割合を50%以上に向上〔令和12年度まで〕

### <事業の内容>

#### 1. スマート農業技術と産地の橋渡し支援

スマート農業技術を他品目等にカスタマイズするための改良を支援します。  
【補助上限額：500万円】

#### 2. 農業支援サービスの育成加速化支援

サービス事業の立上げや事業拡大に向けたニーズ調査、サービス提供の試行・改良、サービスの提供に必要なスマート農業機械等の導入、サービス事業者の事業性向上に資する流通販売体系の転換等に必要施設整備等を一体的に支援します。

【補助上限額：(農業機械)1,500万円、3,000万円、5,000万円  
(ニーズ調査等)1,500万円、3,000万円、(施設整備)3億円】

#### 3. 農業支援サービスの土台づくり支援

- ①サービスの標準的な作業工程や作業精度等を定めた「標準サービス」の策定等を支援します。【補助上限額：7,000万円】
- ②サービス事業への新規参入を促すためのスタートアップセミナーの開催等を支援します。【補助上限額：5,000万円】

### <事業の流れ>

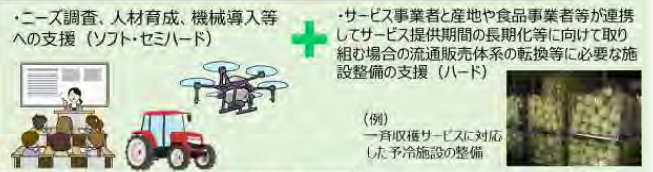


### <事業イメージ>

#### 1. スマート農業技術と産地の橋渡し支援

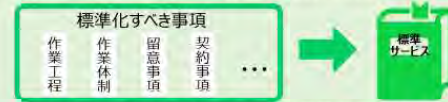


#### 2. 農業支援サービスの育成加速化支援 (ソフト・セミハード・ハード)



#### 3. 農業支援サービスの土台づくり支援

「標準サービス」の策定、サービス利用拡大に資する資材の開発・普及等



【お問い合わせ先】農産局技術普及課 (03-6744-2107)